

ビューポイント VIEWPOINT発見ツアー in 衣川



衣川を楽しく勉強することができました。ありがとうございました。

自然環境部会は、9月9日（金）に「VIEWPOINT発見ツアー in 衣川」を参加者 11 名により開催しました。当日は好天に恵まれ、菊の滝、衣の滝、国見山、黒滝温泉、衣川ふるさと自然塾をバスで巡りました。

今回は、北股地区センターの高橋奉美さん（写真上）に各所を案内していただきました。バスの車内では衣川の自然から歴史についてまで、幅広く解説していただいたほか、衣川地区で古くから歌われてきた『萩刈唄』を披露していただくなど、バスの車内は“衣川色一色”に染められました。参加者は全員、衣川区内の自然景観の素晴らしさを再発見していた様子でした。



衣の滝 高さ 15m、幅 14mの滝で春夏秋冬を通して美しい情景を見ることができます。

菊の滝 岸に菊の花が咲き乱れることから「菊の滝」と称されたといわれています。



国見山 衣の滝から黒滝方面に続く林道（通称：スーパー林道）を進むと国見山山頂（国見平スキー場頂上）付近に到着します。そこには胆沢平野や北上山地を望めるVIEWPOINTがありました。

天気良すぎて少し霞がかっていましたが、条件が揃えば遠方まで見渡すことができます。「手前の樹木を整備できればもっと見えるのになぁ・・・」という意見もありました。



地図で現在地を確認しています。



黒滝温泉 温泉に隣接する木質バイオマスガス化施設を見学しました。



衣川ふるさと自然塾

小説『子育てごっこ』の舞台になった旧大森分校にある直木賞作家「三好京三」先生の記念室などを見学してきました。自然塾周辺では、夏になるとものすごい数のホタルが夜空を舞うそうです。



当面の活動予定

おうしゅう環境フォーラム 2011

自然と共に生きる暮らし in 衣川

～ 遊びにおいでよ エコろもがわ ～

11/20(日) 10～15時半/衣川山村開発センター

運営会議(9～10月)からのご報告

- ・おうしゅう環境フォーラム 2011 の内容について検討しました。
- ・放射能学習会について報告がありました。
- ・会報の内容について話し合いました。



放射能学習会

(第2回)

当会では、8月31日に第2回目となる放射能学習会を開催しました。当日は約230人ものご参加をいただき、市民の皆さんの関心の高さがうかがえました。

講師には、岩手県立大学 総合政策学部 教授の佐野嘉彦先生と、前沢診療所放射線技師長の山田優先生をお招きし、それぞれのご専門から福島原発の事故に伴う放射性物質の拡散の実態や、放射線が体に与える影響などについてお話をいただき



佐野嘉彦教授



山田勝放射線技師長



ました。ご参加いただいた皆さんは、放射線の新たな問題に熱心に耳を傾けていました。

奥州めぐみネットでは、これからもこの放射線の問題に対し、取り組んでいきたいと思ひます。

旧松尾鉱山の新中和処理施設を見学しました！

自然環境部会は10月11日(火)旧松尾鉱山新中和処理施設の見学を実施しました。当日は、会員など17名が参加しました。

北上川が中央を流れ、その恩恵を受けている奥州市民として、旧松尾鉱山の抗廃水(鉱毒水)がどのような問題を持ち、それが処理施設でどう処理されているかを知ることができる非常に有意義な内容でした。

処理施設の維持管理は、岩手県から独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)が委託を受けて実施しており、その松尾管理事務所長である上木隆司さんに施設の説明や案内をいただきました。

施設見学後は、中和処理施設に隣接する敷地で、過去5年間に各団体が植樹活動をした場所の見学をしました。ここでは、NPO 法人森びとプロジェクト委員会みちのく事務所事務長泉山忍さんと事務次長仲崎友治さんから説明をいただきました。

「土を入れ替えた土地に植樹をしても根が深くなりすぎると、phが低い土に届いてしまい枯れてしまうことがある。」ことなど、植樹も簡単ではない面があること等のお話をいただきました。

北上川上流部での中和処理や植樹の取り組みの下に我々の生活が成り立っていることを知ることができるまたとない貴重な機会となりました。

お世話いただいた皆様、本当にありがとうございました。



農薬って どんなもの？

生活環境部会は、8月25日(木)に小黒石自然体験交流館「こぐりん」を会場に『農薬って、どんなもの？』を開催しました。

当日は12名(会員11名、事務局1名)の参加により、ドキュメンタリー・フィルム「いのちの食べ方」の視聴のほか、無農薬食材を使った料理の試食や「近年農薬事情・ネオニコチノイド系農薬」と題した講義(講師：建部部会長)を行いました。

農薬についての講義では、ネオニコチノイド農薬の危険性などについて建部部会長から説明がありました。

私たちは日頃、味は変わらないにも関わらず、見た目が綺麗なものを好むことが多く、そういった部分を改めていかなければいけないといった発言がありました。



森から水が生まれる仕組みを学ぼう！



環境学習部会では、10月2日(日)に水沢区の大師山森林公園を会場に、「森から水が生まれる仕組みを学ぼう！」事業を開催しました。当日は、奥州めぐみネット5人、共催のみずさわエコキッズから25人が参加し、青空のもと、大師山トレッキングをしました。

登りは、水沢区黒石の高橋與一さんから「針葉樹と広葉樹の役割」について学びました。頂上では、黄金の胆沢平野を眺めて休憩し、下りは源流をたどりながら、岩泉町の泉山博直さんから「森から水が生まれる仕組み」について学びました。



高橋與一さん



泉山博直さん

会員リレー紹介

会員No. 団-12 / 自然環境部会所属

『大曲の水辺に夢をつくろう会』

汚され壊されつつある、母なる「北上川」のかつての清流・良好な水環境を取り戻そうと2002年に発足した当会は、「川の見える水辺づくりと・花と緑のある体験広場づくり」を目指し、活動しています。

活動にあたっては、

- 求めるのではなく 自分たちに何ができるかを問いつつ 出来ることから
- 楽しみながら 達成感のある活動を
- 張りきりすぎて 疲れないように
- 人工的にならないように 自然を残しながら

を大事に推進しています。

川まつり等の川とのふれあい事業、水辺環境や景観の保全、水質・水生生物調査等の自然体験学習、河口清掃やフォーラムの開催などの活動をしています。

千葉幹夫さん



不法投棄物撤去作業

資源循環・廃棄物部会は9月14日(水)、前沢区字鵜の本地内及び同区字南陣場地内に不法投棄された一般廃棄物の撤去作業を行いました。

当日は、会員と土地の管理者等を含む25名が参加し、各自がごみの回収作業を行いました。

一同、回収を始める前は少量に見えた投棄物が、拾っても拾っても減らない状況に驚きでした。



回収作業が終了したのは約1時間が経過したころ。何と、約50袋のごみ袋がいっぱいになっていました。

今回した回収したごみは、燃えるごみ36袋のほか、その他プラスチック5袋、アルミ缶4袋、ペットボトル2、スチール



車両は鈴木商会さん・志和商店さんの協力

缶、鉄くず、ビンがそれぞれ1袋でした。

集めたごみはそれぞれ、胆江地区衛生センターへの持込等により処分されました。

回収後は、不法投棄しづらい環境をつくること、また、今後この場所にごみが捨てられなくなることを願って、昨年度同様、不法投棄防止啓発看板を設置しました。

資源循環・廃棄物部会では、このような活動を続けながら、不法投棄の防止や抑止につなげていきたいと考えています。

参加された皆様、お疲れ様でした！



当日参加者された皆さん

🍀 おうしゅう環境フォーラム2011 🍀

～ 耳寄り情報 ～

環境フォーラムプロジェクトチームでは、現在フォーラムの内容などについて話し合いをしていますが、その中からチョットだけ最新情報を漏らしちゃいます・・・(^_^)

耳寄り情報その1

昔なつかし草花遊びコーナーがあるらしい・・・

耳寄り情報その2

子ども限定でポニーとふれあえるらしい・・・

耳寄り情報その3

芋の子汁が無料で食べれるらしい・・・

情報元：ないしょ

◇ 編集委員の独り言 ◇

どうなっているのだろう。高気圧と低気圧にもみくちゃにされている。10月の声を聞いたら木枯らしが吹いた。季節が走っている。ちょっと待って欲しい。

今年は春の桜を眺めるゆとりが無かった。秋桜を見ないうちに雪の便りはごめん。夜半の風に起こされ、蜂蜜入りのホットミルクで神経をなだめすかして眠りについた。

朝、穏やかな秋の空が広がっていた。深呼吸をしたら、昔出合った詩を思い出した。『秋。どこかで水晶のぶつかりあう音がする』

工藤晶子